

観点別指導内容シート

① 援助を要請する力

- ア 困ったときの対処の仕方を考えさせ、自分ではどうしたらよいのか分からないときには援助を求めることの大切さを理解させる。
- イ 困ったときに援助を求める相手や状況に応じた伝え方に気付かせる。

② 要求を拒絶する力

- ア 相手の間違った要求に対して、断ることの正しさを理解させる。
- イ 相手を不快にさせないような断り方を考えさせ、自分の気持ちを明確に伝える方法について気付かせる。

③ 自分の限界を伝える力

- ア 自分にとって難しいことや頑張ってもできないことを、伝えることの大切さを理解させる。
- イ できない理由や自分の状況の伝え方に気付かせる。

④ 自分の権利を伝える力

- ア 所有権等、自分の権利として主張できることに気付かせる。
- イ 自分の状況を伝えながら、自分がどうしたいか（相手にどうしてほしいか）を伝える方法について気付かせる。

⑤ 異なる意見を伝える力

- ア 友だちと違った意見や考えを伝えることの大切さを理解させる。
- イ 異なる意見を伝えるときは、理由を付けて伝える必要があることを理解させ、その伝え方に気付かせる。
- ウ 相手を不快にさせないような言葉や言い方に気付かせる。

⑥ 肯定感情を伝える力

- ア 友だちに対して、ほめたり感謝したりすることの大切さを理解させる。
- イ 親切にされたり手伝ってもらったりしたときの感謝の言葉の伝え方に気付かせる。
- ウ 相手が言われて嬉しくなるような言葉や言い方に気付かせる。

⑦ 自分の考えを伝える力

- ア 自分の思いや考えのまとめ方に気付かせる。
- イ 話し合いに参加するときの意見の言い方に気付かせる。
- ウ 状況に応じた言葉や声の大きさを意見を言うことの大切さに気付かせる。

⑧ 思いやりの感情を伝える力

- ア 温かい言葉や元気が出る言葉について考えさせ、その言葉掛けによる気持ちの変化に気付かせる。
- イ 困っている友だちに気付いたときにどうすればよいか考えさせ、状況に応じた伝え方に気付かせる。